

下記の日程でお伺いさせていただきました。年度末の御多忙な中、時間を割いていただきありがとうございました。

日 時	医 療 機 関	
平成28年3月15日(火)	徳島県立中央病院	患者支援センター
平成28年3月16日(水)	徳島市民病院	患者支援センター
	徳島大学病院	患者支援センター
		がん診療連携センター
平成28年3月17日(木)	吉野川医療センター	地域連携室
	阿波病院	地域連携室
平成28年3月23日(水)	三好病院	地域医療センター
平成28年3月25日(金)	三野病院	地域連携室

- (1) 美馬市医師会での在宅医療連携拠点事業の取り組み(多職種連携会議、検討会、部会)
- (2) 地域の医療・介護資源の把握「在宅医療資源機能調査」結果
- (3) 美馬市医師会内で実施されてきた「在宅医療ネットワーク構築支援事業」(主治医・副主治医の試み)
- (4) ICTを活用して医療・介護情報の共有を実施する「徳島県ICT在宅医療拠点基盤整備モデル事業」
- (5) 「在宅医療と介護に関する相談窓口」リーフレットについて

平成27年度美馬市医師会における在宅医療体制整備

医師会事務局と行政(市・町・保健所)との連携会議(1回/2月程度)

在宅医療・介護多職種連携会議(年2~3回)

委員32名

課題と解決策を協議

年2回程度開催

在宅医療ネットワーク構築支援事業(平成25~7年度)

在宅情報共有システム検討会

(情報連携システムの構築、美馬市医師会HPの更新)

住民啓発検討会

(出前講座等)の実践(チーム体制で)

医療・介護の連携強化検討会

(連携体制の構築と相談支援体制の推進)

医科部会(40医療機関)

在宅医療ネットワーク構築支援事業(3拠点病院)

美馬保健所管内退院支援ルール策定事業

徳島県ICT在宅医療拠点基盤整備モデル事業(3地域で)

ICT在宅医療拠点基盤整備モデル事業(平成26~28年度)

民生児童委員・老人会・婦人会・いきいきサロン等

美馬市東部ネット(成田病院)

美馬市西部つるぎ町ネット(永尾病院)

美馬市西部ネット(美馬リハビリテーション病院)

各4~5回開催

年2回程度開催

歯科部会(21機関)

保険薬局部会(17事業所)

老健・特養部会(9事業所)

訪問系サービス部会(23事業所)

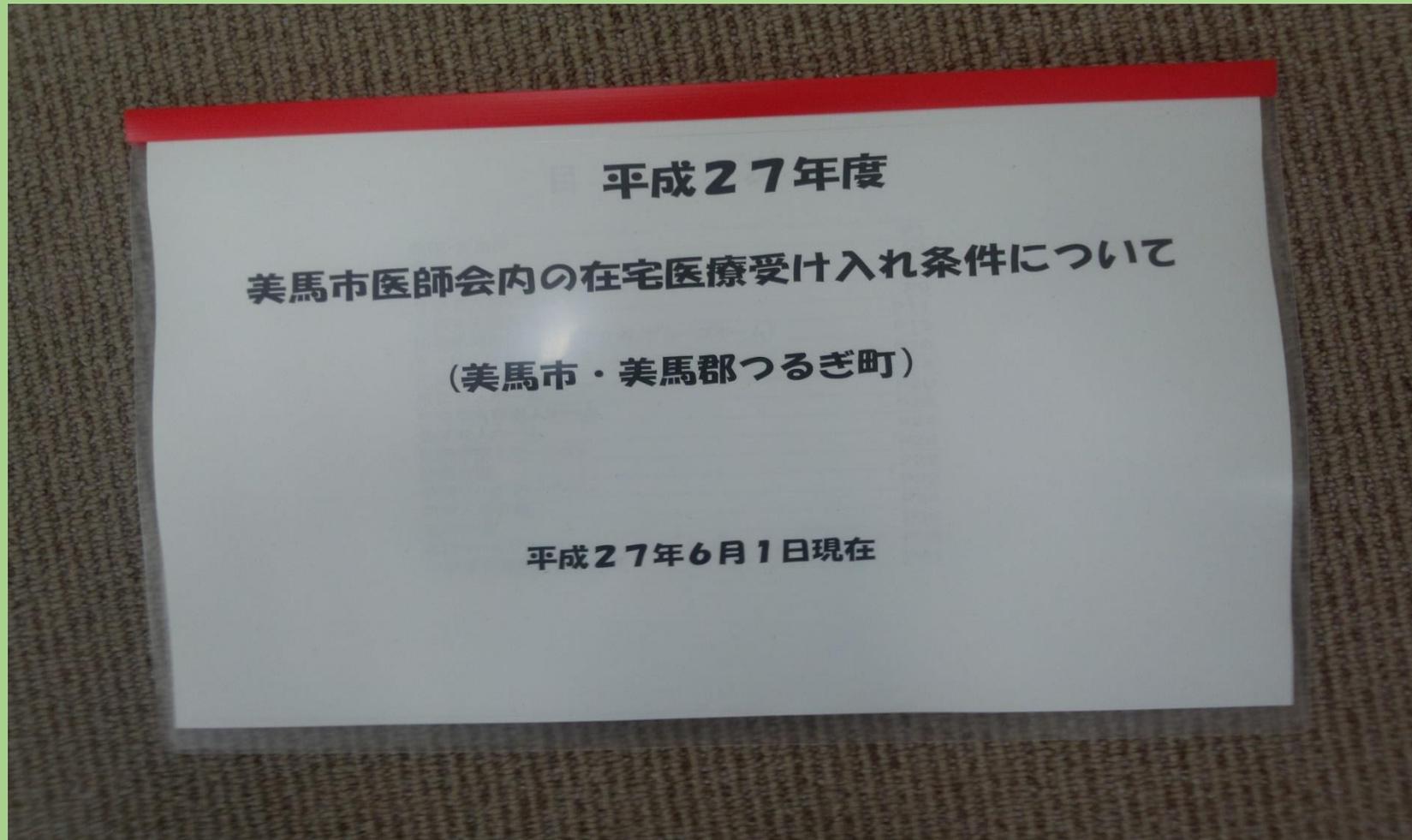
通所系サービス部会(30事業所)

居住系サービス部会(15事業所)

居宅介護支援部会(27事業所)

グループホーム部会(8事業所)

在宅医療資源機能調査結果は、下記のようにファイルしています。調査時、機関や事業所の方に「上記の情報(調査用紙)を関係機関間での情報共有とともに「在宅医療相談窓口」で相談者や家族に提示してもよろしいか」の内容で同意を得ています。この内容については、毎年1回更新していく予定です。また、県下へ情報提供するためには、マップが必要だということがわかりました。



切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 「在宅医療ネットワーク構築支援事業」

現在3病院に拠点をおいて実施 東部:成田病院 西部:永尾病院 美馬リハビリテーション病院

協力医療機関:協力医療機関A(病院:急性期)、協力医療機関B(診療所:在宅医療提供)

協力医療機関C(病院:介護施設併設)

■自宅で医療を受けている患者の急性増悪時等に複数の医師(17のネットワーク参加医療機関)で対応する。主治医が出張や私用等で対応できない場合に、対応する医師(病院)を当番制で定めている(1ヶ月毎)さらにケアマネ、訪問看護師等と連携する。

①在宅医療連携ネットワーク参加同意説明書 **患者のプライバシー保護を嚴重に図りながら連携する医療関係者、福祉関係者、その他各機関の関係者が、病状変化や医療・福祉行為の情報を共有する事でその資質向上と充実を図ることを目的とする。病状変化に伴い往診を希望された時、連携する医師が患家に赴き適切な診療を行う。** <共有される情報>

▼在宅者氏名・生年月日・年齢・住所・電話番号▼病歴、病名▼使用している薬剤▼日々の状態(連携者の訪問状況)▼紹介元病院、再入院希望病院▼連携者▼レントゲン等の画像▼褥瘡等の身体画像▼医療保険、介護保険に付随する情報

紙面での情報共有(個人情報の保護に苦慮)⇒H27~クラウド型情報共有システムを活用

②在宅医療連携ネットワークの連携医療機関に関する覚書

③事前指示書(終末期医療についての希望)

患者・ご家族の皆様へ……
承諾書・説明文書作成

①心臓マッサージなどの心肺蘇生は ②カウンターショックによる心肺蘇生は ③酸素吸入器による呼吸の確保は ④延命のための人工呼吸器装着は ⑤経鼻胃管による経管栄養は ⑥胃ろうによる栄養は ⑦末梢からの点滴による水分補給は ⑧中心静脈栄養は ⑨血圧低下に際する強心剤の投与は ⑩輸血療法は ⑪苦痛を緩和する治療は ⑫急変時に主治医か代理医師の緊急往診を ⑬急変時に医療機関への緊急搬送を ⑭最期に入院せず自宅で看取ることを

症状急変時に、患者や家族の決心が変わることがあり、苦慮する

東部地区: 8医療機関

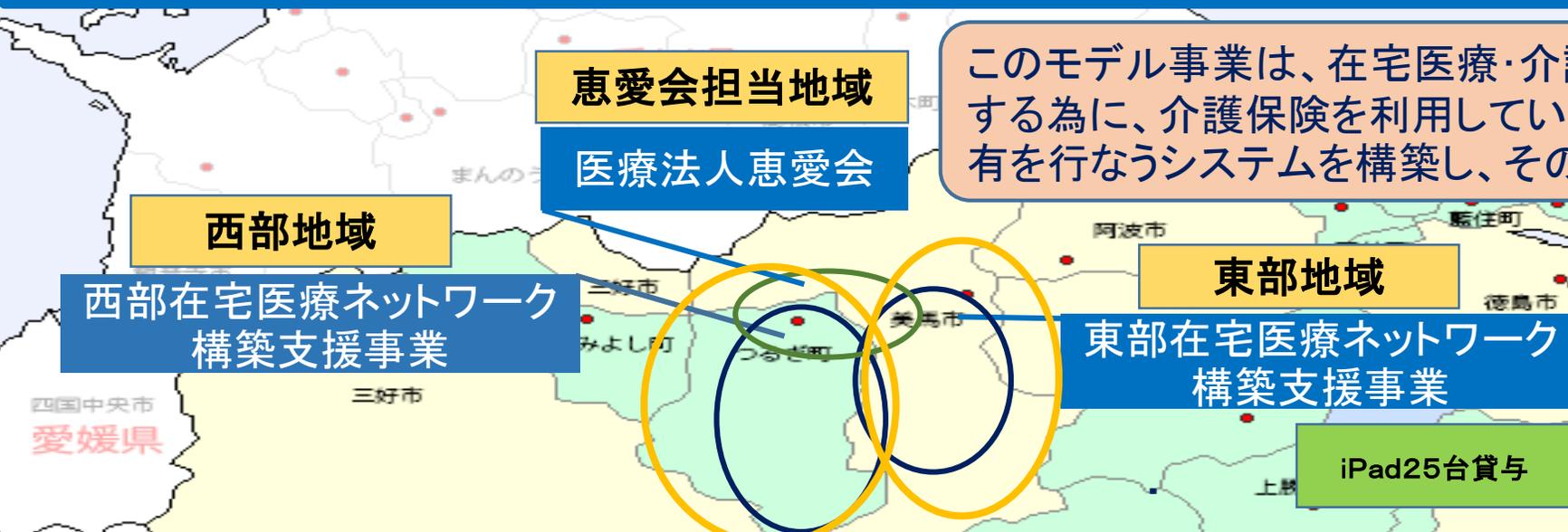
◆成田病院 ◆ハウエツ病院
◆岡内科病院 ◆佐藤内科
◆市橋内科医院 ◆成田クリニック ◆成田診療所 ◆林クリニック(以上美馬市脇町)
◆国見医院(美馬市穴吹町)
●訪問看護ステーションみやの

西部地区: 7医療機関

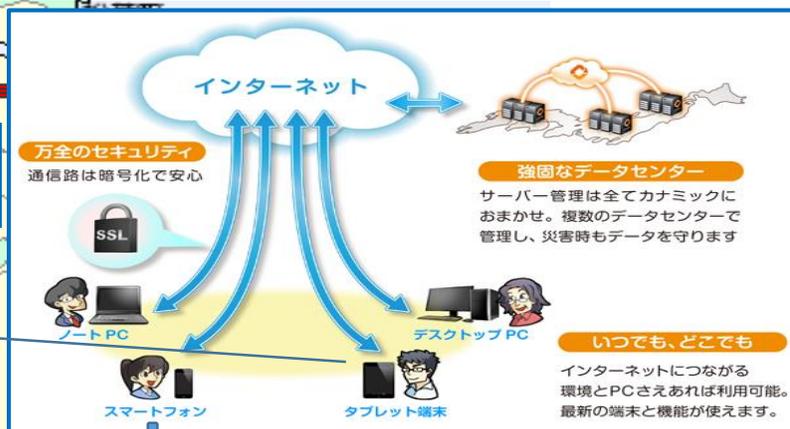
◆永尾病院 ◆谷病院
◆武原外科整形外科医院(以上つるぎ町) ◆美馬リハビリテーション病院 ◆木下医院 ◆木下内科循環器科 ◆佐々木医院(以上美馬市美馬町) ●看護協会訪問看護ステーション半田

■平成25～27年度 登録者25名、うち死亡16名(自宅で看取り12名、病院4名)で終了
25名の登録状況: 悪性新生物10名、心疾患4名、脳血管疾患、肺疾患、骨折等で自宅にて療養希望
12名が自宅で看取り: 12名中5名が悪性新生物で療養

医療・介護関係者の情報共有の支援 「徳島県ICT在宅医療拠点基盤整備モデル事業」平成26～28年度予定



このモデル事業は、在宅医療・介護に関する多職種の円滑な連携を支援する為に、介護保険を利用している患者の医療情報及び介護情報の共有を行なうシステムを構築し、その利活用について検討する。



かかりつけ医、訪問看護師、ケアマネジャーなどの多職種が、在宅医療・介護サービスを行なう中で、各自が持っている情報をタイムリーに共有することで、各担当者間のスムーズな情報共有・情報交換を実現する場を提供する。

クラウド型情報共有システム「TRITRUS」

76利用者部屋開設 (うち31部屋終了)

病院・診療所・訪問看護事業所・保険薬局・介護老人保健施設・特別養護老人ホーム・グループホーム通所介護・通所リハ・訪問リハ・有料老人ホーム・などで情報共有
35機関の専門職114名が参加
(226名がログインID所有)

谷口会長・・・このシステムは参加しないと「面白みもつまらなさも面倒臭さもわからない……」

